

2021年度看護職員の負担軽減及び改善計画(2020年度の実施状況と評価を含む)

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する実施事項と今後の方針

項目		目標達成年次	2020年度の実施計画	2020年度の実施状況及び評価	2021年度の実施計画
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療の予約化を継続して行う。 ・IT化を進めて、必要な研修を動画で作成し、業務の合間に受講できるようにする。 ・バイタルデータ自動入力システムの導入で業務の効率化を図ることができるか検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科外来、アイセンター外来の予約制が稼働している。 ・必要な研修は、自作の動画やオンデマンド研修を個々の勤務時間内でも視聴できるよう計画した。 ・2020年9月に記録部会メンバーが通信機能付きバイタルサイン測定機器の説明会を受けた。現在のところ強いニーズがないため保留となった。 ・さくら病棟わかば病棟では、準夜勤前の前残業の問題を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な研修は、動画やオンデマンド研修を利用していく。 ・さくら病棟わかば病棟では、準夜勤前の前残業が常態化しないよう、業務整理にとどまらず、勤務時間も含めて見直しを図る。
	薬剤師	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師は、配薬、持参薬のリスト化を継続する。TPNの無菌調剤に関しては、在宅患者の一部を院外処方箋で対応できるよう、近隣の調剤薬局と打ち合わせを適宜おこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師は、配薬、持参薬のリスト化は継続して実施した。薬剤が重複しないよう情報提供を行うなどリスト化までの精度は向上した。中心静脈栄養の無菌調整に関しては打ち合わせを行うことができなかったが課題とする。 ・看護師への情報提供の精度が高まった。(持参薬の内服方法がわからないなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者や看護師にとって必要な研修は専門職として薬剤師が講師を務める。 ・薬剤師は、配薬、持参薬のリスト化を継続し、医師や看護師への情報提供を行う。
	臨床検査技師	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の採血を継続する。 ・検査の中で手順の説明をできるものがないか看護部と検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の採血業務は継続して実施した。 ・発熱外来の検査室の設備、運用を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の採血を継続する。 ・検査の中で手順の説明をできるものがないか引き続き検討する。 ・新卒者や看護師にとって必要な研修は専門職として臨床検査技師が講師を務める。
	臨床工学技士	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の医療機器の管理を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の医療機器の管理を継続しておこなった。病棟の医療機器はME室でほぼ管理し、手術室は保守点検のみおこなった。 ・透析のME機器の取り扱いについて看護師を対象に定期的に研修を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の医療機器の管理を継続して行う。 ・新卒者や看護師にとって必要な研修は専門職として臨床工学技士が講師を務める。

2021年度看護職員の負担軽減及び改善計画(2020年度の実施状況と評価を含む)

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する実施事項と今後の方針

項目		目標達成年次	2020年度の実施計画	2020年度の実施状況及び評価	2021年度の実施計画
看護職員と他職種との業務分担	視能訓練士	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟における眼科患者の診療の補助や案内誘導などを継続して行う。 ・検査の手順の説明や患者指導において、できるものがないか看護部と検討する。 ・退院時の再診予約と患者指導ができるか検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟における眼科患者の診療の補助や案内誘導などを継続しておこなった。 ・検査の手順の説明や患者指導で、委譲したり共同で行うものがないかの検討はできなかった。 ・退院時の再診予約について、特殊な検査など専門的な判断が必要となる場合は視能訓練士がおこなえるよう整備した。 ・ロービジョンケアが必要な患者に、必要な情報収集ができるよう問診票を作成し活用を開始した。 ・専門性の高い領域によっては、視能訓練士による研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続看護を目的にロービジョンチームとして連携を強化し、定期的な会合、症例検討、補助具の紹介、問診票の活用状況の評価や助言を行う。 ・専門性の高い領域に関しては、視能訓練士が継続して研修の講師を務めていく。
	リハビリ職員	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・手術で入院し、リハビリが必要な患者には、リハビリに関してはリハスタッフが直接説明をおこなうことを継続する。 ・食事時のポジショニングや、嚥下状態の確認、訓練をおこないながら、患者の食事摂取をすすめていくことを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術で入院し、リハビリが必要な患者への説明は保留とした。 ・看護補助者対象に「移乗の方法について」、主に看護補助者対象に「股関節の術式と術後生活指導について」、看護師対象に「肩関節の術式と術後生活指導について」計2回勉強会を開催した。その中で肩の装具について紹介し実際触って体験したり着脱方法の指導などを行った。 ・食事時のポジショニングや、嚥下状態の確認、訓練をおこないながら、患者の食事摂取をすすめていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肩の手術の説明の動画作成に協力する。(手術で入院し、リハビリが必要な患者への説明の一貫として行う) ・食事時のポジショニングや、嚥下状態の確認、訓練をおこないながら、患者の食事摂取をすすめていくことを継続する。
	管理部職員	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・予定入院のCSセットの説明を継続しておこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全科の予定入院のCSセットの説明を継続しておこなった。 ・感染対策の防護服やフェイスシールドの納入が不足したため作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定入院のCSセットの説明を継続しておこなう。
	事務員	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者の事務作業補助者は継続して配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者の事務作業補助を継続し、部署管理者の事務作業補助を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者の事務作業補助者は継続して配置する。

2021年度看護職員の負担軽減及び改善計画(2020年度の実施状況と評価を含む)

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する実施事項と今後の方針

項目		目標達成年次	2020年度の実施計画	2020年度の実施状況及び評価	2021年度の実施計画
	医事課職員	実施済み (2021年度も継続)	・入院費など入院の費用に関する説明を継続しておこなう。 ・アイセンター外来において、予約体制の変更を検討中。受付で医事課職員が医師別の予約をとることで、看護師の当日の患者振分業務を軽減させることを目指す。	・入院費など、費用に関する説明を継続しておこなった。 ・アイセンター外来において、受付で医事課職員が医師別の予約をとることで、看護師の当日の患者振分業務が軽減した。	・入院費など入院の費用に関する説明を継続しておこなう。
	歯科衛生士	実施済み (2021年度も継続)	・入院患者の口腔スクリーニングで問題のあった患者に病棟専属の歯科衛生士が口腔清掃を継続して行う。	・病棟専属の歯科衛生士が入院患者の口腔スクリーニングで問題のあった患者の口腔清掃を行った。	・入院患者の口腔スクリーニングで問題のあった患者に病棟専属の歯科衛生士が口腔清掃を継続して行う。
	その他	実施済み (2021年度も継続)	・通訳のサービスを継続して利用する。 ・ポケットクは院内で救急室に1台あり、必要時貸し出しているが、同時に必要となることも発生するため、必要な台数を検討する。	・医療通訳士が対応し、不在の場合は、電話医療通訳、タブレットによるインターネット通訳、ポケットクの3種類を利用できるよう体制をととのえた。	・通訳のサービスは継続して利用する。 ・JMIP受審の機会に設備や掲示物の多言語表記を行う。
	その他	実施済み (2021年度も継続)	・患者支援センターで、入院前の外来での問診や説明、支援指導を行う。	・患者支援センターで、入院予約患者の外来での問診や説明を行った。	・患者支援センターで、予約入院の外来での問診や説明、支援指導を継続して行う。 患者支援センター稼働日以外でのニーズを確認する。
	看護補助者の夜間配置	実施済み (2021年度も継続)	・見守りが必要な患者には、ケアワーカーを配置、他部署からの応援も行う。	・見守りが必要な患者には、ケアワーカーを配置し、外来からの看護師の応援も行った。	・見守りが必要な患者には、ケアワーカーを配置、他部署からの応援も行う。

2021年度看護職員の負担軽減及び改善計画(2020年度の実施状況と評価を含む)

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する実施事項と今後の方針

項目		目標達成年次	2020年度の実施計画	2020年度の実施状況及び評価	2021年度の実施計画
看護補助者の配置	看護補助者の業務内容の検討	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら病棟では、看護補助者を看護師チームへの配属にすることは行っていないが、看護師からの申し送りを強化し、補助者間の情報共有を密に行っていく。 ・わかば病棟では、看護補助者が嚥下に問題のない患者の食事介助ができるよう検討する。 ・あやめ病棟では、治療に影響のない説明は補助者で行っていくことを継続する。 ・アイセンターでは、入院説明のうち持参物について補助者が説明できるよう検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら病棟(急性期病棟)では、補助者全員で全体をみることができるよう、情報共有を密に申し送りを強化した。 ・わかば病棟(地域包括ケア病棟)では、補助者が嚥下に問題のない患者の食事介助ができるよう体制ができた。デイケアの運営メンバーとして患者へのレクリエーションを行った。 ・さくら病棟わかば病棟では、誤嚥予防にとろみ剤を使って個々に作成していたが、とろみサーバーのレンタルを開始した。 ・あやめ病棟(地域包括ケア病棟)では、入院案内で得られた情報を看護師に報告し、病室の環境整備を図ることができた。(トイレのドアの開放やベッド柵の設置など) ・アイセンターでは、マンパワー不足のため入院時の持参物の説明を看護師が行ったが、検討課題とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら病棟(急性期病棟)では、補助者全員で全体をみることができるよう、情報共有を密に申し送りを強化していく。 ・わかば病棟(地域包括ケア病棟)では、デイケアの運営メンバーとして患者へのレクリエーションを行う。 ・あやめ病棟(地域包括ケア病棟)では、入院案内で得られた情報を看護師に報告し、病室の環境整備を図っていく。 ・アイセンターでは、補助者が入院時の持参物の説明を行うことができるよう検討する。
	看護補助者の配置を充実する	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・高卒の看護補助者の募集のリクルート活動を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高卒の看護補助者を1名採用した。 ・高卒のインターンシップを2名受け入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高卒の看護補助者の採用活動を継続して行う。
多様な勤務形態の導入		実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤専従看護師の院内募集(1ヶ月単位)を継続する。 ・夜勤専従看護師を院外に募集することを継続する。 ・夜勤なしの正職員制度を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内募集で、わかば病棟で可能な人に月単位での夜勤専従を担ってもらった。 ・夜勤専従看護師の院外応募はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤専従看護師の院内募集(1ヶ月単位)を継続する。 ・夜勤専従看護師を院外に募集することを継続する。 ・夜勤なしの正職員制度を継続する。
妊娠・子育て中、介護	院内託児施設と夜間保育の実施	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内託児施設を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内託児施設が民営化し利用時の制約が緩くなり利用しやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内託児施設を継続していく。
	夜勤の減免制度	実施済み(2021年度も継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤なしの正職員(準正職員B)、夜勤回数を制限している正職員(準正職員A)の制度の維持。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤なしの正職員(準正職員B)、夜勤回数を制限している正職員(準正職員A)の制度の活用ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤なしの正職員(準正職員B)、夜勤回数を制限している正職員(準正職員A)の制度の維持。

2021年度看護職員の負担軽減及び改善計画(2020年度の実施状況と評価を含む)

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する実施事項と今後の方針

項目		目標達成年次	2020年度の実施計画	2020年度の実施状況及び評価	2021年度の実施計画
中の看護職員への配慮	所定労働時間の短縮	実施済み(2021年度も継続)	・制度の継続。	・制度を維持し、復帰はじめは、準正職員や育児短時間の利用者も多い。制度が定着してきた。	・制度の継続。
	他部署への配置転換	実施済み(2021年度も継続)	・年に1度の意向調査を継続し、配置転換などの希望を聞き、個々の事情に沿った配置を考えていく。	・年に1度意向調査をおこない、希望があった場合は、部署異動など、可能であれば希望にそうよう努めた。	・年に1度の意向調査を継続し、配置転換などの希望を聞き、個々の事情に沿った配置を考えていく。
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	実施済み(2021年度も継続)	・日勤でも遅出、早出勤務のシフトをつくり、夜勤帯に増員できるよう工夫することを継続する。	・日勤でも遅出、早出勤務のシフトを継続し、夜勤帯に増員できるよう工夫した。	・日勤でも遅出、早出勤務のシフトで、夜勤帯に増員できるよう工夫することを継続する。
	月の夜勤回数の上限定	実施済み(2021年度も継続)	・上限設定を継続する(正職員なら、3交代で9回まで、など)。	・設定を継続した。	・上限設定を継続する(正職員なら、3交代で9回まで、など)。
その他	安定的な欠員補充と定着促進	実施済み(2021年度も継続)	・採用条件の緩和を継続しておこなう。具体的には、年齢に関係なく、短時間勤務希望のアルバイト、パート、准看護師も応募可能とする。	・採用条件の緩和の継続(短時間勤務希望のアルバイト、パート、准看護師も応募可能)し、60歳以上の看護師の採用をおこなった。	・採用条件の緩和を継続しておこなう。具体的には、年齢に関係なく、短時間勤務希望のアルバイト、パート、准看護師も応募可能とする。
		実施済み(2021年度も継続)	・インターンシップ制度の希望受付を継続する。	・インターンシップ制度を継続し、2020年度の希望者は看護師2名、看護補助者2名であった。	・インターンシップ制度の希望受付を継続する。
	休暇の見直し	実施済み(2021年度も継続)	年次有給休暇の利用を推進し、リフレッシュ休暇も継続して付与していく。	・リフレッシュ休暇は廃止となったが、年次有給休暇と別枠の休暇として有補休暇の取得制度がつくられたため、有休が不足した職員も無理せず休暇をとることができた。	・年次有給休暇の利用を推進し、不足する場合は有補休暇も継続して付与していく。
	職場環境の整備	実施済み(2021年度も継続)	・休憩場所が不足していたり、換気が不十分な部屋もあることから全体整備計画に要望していく。	・休憩場所を他の講堂や会議室で利用できるようにした。	・特定の休憩室以外の部屋の使用を継続して使用する。